

公益社団法人名古屋中法人会の皆様

公益社団法人 名古屋中法人会
名城支部 支部長 服部信一郎
栄西支部 支部長 占部 憲一
栄東支部 支部長 辻本 昌孝

三支部合同講演会

東海・東南海・南海地震について、考えよう！

東海地域では明治時代に濃尾大震災がありました。そして、昭和 19 年三河地震もありました。この三河地震は戦時中と云うことで報道されず秘密裏に処理されました。

3.11 の東日本大震災の前から、私達が住む名古屋は地震がいつ来てもおかしくないといわれています。2 年前、法人会の支部事業で川崎浩司先生をお招きし、地震について勉強いたしました。

その時、名古屋は渥美半島や島にガードされているので、津波が名古屋へ来るまでには時間がかかるが、津波が来ると地形的に水が引くのに時間がかかるのではないかと説明されました。

また、津波が来る前に、木曾三川の堤防がのっかっている地盤は堆積層で軟弱な為、震度 6 以上で地盤が液状化し、堤防が決壊し、川の水は名古屋市内の 0 m 地帯に流れ込む恐れがあることも示唆されています。

それ以来、行政の発表する犠牲者の予想数字は 6,000 人以上と増加しています。

今回は、もっと身近なところに視点を絞りお話をさせていただきます。また、質疑応答の時間も多く持つ予定です。是非、多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

- * 名古屋市中区はどのような状態が予想されるか？
- * 地下 35m のリニア中央新幹線の駅の構造はどうすればよいのか？
- * 平成 26 年 9 月 24, 25 日、雨水が駅前の工事現場から、地下鉄に流れ込み、25 日の 16 時頃まで、地下鉄東山線は止まっていた。地下鉄、地下街はどうなるか？

《日 時》平成27年3月3日(火)

受 付 13:30 ~
開会の辞 14:00 講 演 14:05 ~
質疑応答 15:05 ~ 謝 辞 15:25

《会 費》

無 料

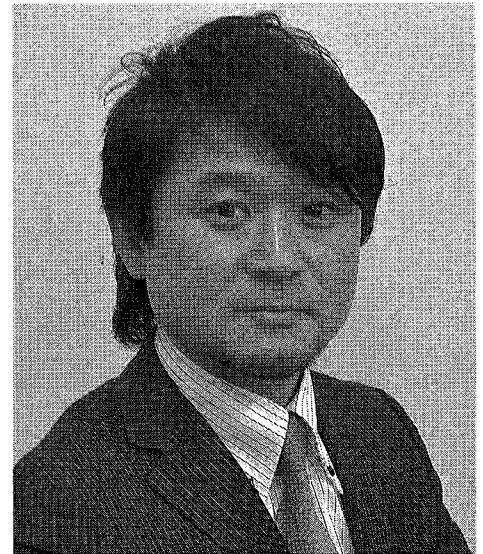
《会 場》中区役所ホール (地下)

名古屋市中区栄 4-1-8

《お申込み》下記「申込書」にご記入の上、事務局まで FAX。
又は郵送にて申込み願います。

〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル 3F
公益社団法人名古屋中法人会 事務局
TEL. 242-9427 又は

FAX. 242-9429



《講 師》川崎 浩司 氏

株式会社ハイドロソフト技術研究所
執行役員 兼 研究開発センター長

名城大学 特任教授

* 専 門 分 野

・ 海岸工学・沿岸環境工学

* 現在の主な研究

・ 沿岸防災とその対策技術

・ 半閉鎖性内湾の海域環境